



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年12月24日

上場会社名 株式会社セキチュー 上場取引所 東
 コード番号 9976 URL http://www.sekichu.co.jp
 代表者 (役職) 代表取締役社長 (氏名) 関口 忠 弘
 問合せ先責任者 (役職) 管理本部管理部長 (氏名) 田中 幸 司 (TEL) 027 (345) 1111
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月25日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年2月21日～平成27年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	24,738	△8.9	574	△46.3	713	△38.7	387	△59.7
27年2月期第3四半期	27,163	2.1	1,068	574.4	1,163	158.7	961	327.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第3四半期	35.19		—					
27年2月期第3四半期	86.83		—					

四半期経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	20,613	10,850	52.6
27年2月期	20,201	10,876	53.8

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 10,850百万円 27年2月期 10,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年2月21日～平成28年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△5.8	650	△33.6	700	△45.6	400	13.3	36.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期3Q	11,172,300株	27年2月期	11,172,300株
28年2月期3Q	397,049株	27年2月期	96,048株
28年2月期3Q	11,015,690株	27年2月期3Q	11,077,251株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付書類) 3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、継続的な政府の経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境は回復基調で推移しておりますが、中国をはじめとする新興国の経済減速懸念の広がり、円安による物価上昇や、依然として厳しい個人消費の状況等、景気の先行きは不透明な状況にあります。

ホームセンター業界におきましても、個人消費の回復の遅れや天候不順、同業及び他業種との激しい競争が続く中、依然として厳しい状況下にあります。

このような状況のもと、当社は「感謝の気持ちで顧客満足を実現する」を当事業年度のテーマに掲げ、商品の入替や品揃えの拡大、ポイントカード導入によるサービスの追加等、新規顧客の獲得や再来店の促進に努め、また、仕入原価の低減や在庫管理精度の向上による売上総利益率の改善、光熱費等一部販管費の削減により、より収益性の高い企業となるべく努めてまいりました。

店舗政策におきましては、企業収益の向上と体質の強化を目的として、店舗のスクラップ&ビルドを実施しました。2店舗を開店（4月「ホームセンターセキチュー鶴川店」、10月「ホームセンターセキチュー沼田恩田店」）、5店舗を閉店（3月「ホームセンターセキチュー上三川店」、5月「ホームセンターセキチュー前橋大利根店」、6月「サイクルワールド川口芝店」、8月「オートウェイ渋川店」、10月「ホームセンターセキチュー沼田店」）した結果、平成27年11月20日現在では、31店舗となりました。（ホームセンターセキチュー23店舗、カー用品専門店オートウェイ3店舗、自転車専門店サイクルワールド5店舗）

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は247億3千8百万円（前年同期比8.9%減）となりました。営業利益は5億7千4百万円（同46.3%減）、経常利益は7億1千3百万円（同38.7%減）、四半期純利益は3億8千7百万円（同59.7%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、前事業年度から引続き、店舗のスクラップ&ビルド、個々の店舗の状況に合わせた商品構成の見直しや在庫管理の徹底等により売上高および売上総利益率の改善を進めてまいりましたが、前第1四半期累計期間における消費税増税前の駆け込み需要の反動減を補うには至りませんでした。

この結果、売上高は247億3千8百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント利益は4億5千2百万円（同51.6%減）となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業につきましては、一部テナントの撤退等により、営業収入は3億6千2百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は1億2千1百万円（7.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べ1億4千5百万円減少し、83億3千万円となりました。これは、たな卸資産が5億7千5百万円増加しましたが、現金及び預金が10億9千1百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末と比べ5億5千7百万円増加し、122億8千3百万円となりました。これは建物等の有形固定資産が9億4千万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前事業年度末と比べて4億1千1百万円増加し、206億1千3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べ6億3千8百万円増加し、79億3千8百万円となりました。これは未払法人税等が4億7千1百万円減少しましたが、買掛金が4億5千4百万円、短期借入金が9億円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末と比べ2億1百万円減少し、18億2千4百万円となりました。これは、長期借入金（1年内返済分を除く）が8億5千5百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が9億9千4百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度と比べ4億3千7百万円増加し、97億6千3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べ2千5百万円減少し、108億5千万円となりました。これは、利益剰余金が2億

2千1百万円増加したものの、自己株式を1億6千5百万円取得したこと、その他有価証券評価差額金が8千1百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月2日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

(損益計算書)

従来当社が保有・管理する店舗施設等から生じる賃貸収入は、営業外収益の「受取賃貸料」(前第3四半期累計期間379,081千円)に表示しておりましたが、第1四半期会計期間より、「営業収入」の区分を新たに設け、「不動産賃貸収入」として表示する方法に変更いたしました。また、これに関連して生じる費用についても、従来は営業外費用の「賃貸収入原価」(前第3四半期累計期間246,689千円)に表示しておりましたが、第1四半期会計期間より、販売費及び一般管理費に含めて表示する方法に変更いたしました。

当社はこれまで、既存店舗とのシナジー効果および保有不動産の有効活用を目的として、新規出店店舗をはじめ、当社が保有・管理する店舗施設へのテナント誘致を積極的に進めてまいりました。こうした施策に一定の成果が認められたことを受け、今後は不動産賃貸事業をホームセンター事業と並ぶ収益獲得の柱と位置づけ、当社が保有・管理する不動産の賃貸や商業施設の企画・建設および運営管理を積極的に行う方針を決定いたしました。

この変更は、こうした当社の店舗戦略の変更に基づくものであり、事業内容の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

なお、当該表示方法の変更は遡及修正され、前事業年度については遡及修正後の財務諸表となっております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,395	766,542
売掛金	491,747	511,459
たな卸資産	5,643,918	6,219,484
その他	481,817	832,770
流動資産合計	8,475,879	8,330,255
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,500,102	3,366,870
土地	2,748,248	2,770,722
その他(純額)	867,784	919,146
有形固定資産合計	6,116,135	7,056,740
無形固定資産	523,106	809,007
投資その他の資産		
差入保証金	3,725,105	3,620,511
その他	1,400,557	840,576
貸倒引当金	△38,863	△43,171
投資その他の資産合計	5,086,799	4,417,916
固定資産合計	11,726,041	12,283,664
資産合計	20,201,921	20,613,920
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,117,657	5,572,073
短期借入金	—	900,000
1年内返済予定の長期借入金	390,044	574,503
未払法人税等	471,638	—
賞与引当金	90,200	22,099
賃借契約損失引当金	30,141	4,484
ポイント引当金	—	7,984
その他	1,199,906	857,210
流動負債合計	7,299,588	7,938,354
固定負債		
長期借入金	306,450	1,162,099
役員退職慰労引当金	1,048,833	54,455
資産除去債務	321,463	310,132
その他	349,398	298,243
固定負債合計	2,026,144	1,824,929
負債合計	9,325,733	9,763,284

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	4,203,694	4,425,161
自己株式	△37,869	△203,732
株主資本合計	10,645,700	10,701,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230,487	149,332
評価・換算差額等合計	230,487	149,332
純資産合計	10,876,187	10,850,635
負債純資産合計	20,201,921	20,613,920

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年11月20日)
売上高	27,163,122	24,738,468
売上原価	19,580,883	17,663,166
売上総利益	7,582,239	7,075,301
営業収入		
不動産賃貸収入	379,081	362,482
営業総利益	7,961,320	7,437,784
販売費及び一般管理費	6,892,647	6,863,624
営業利益	1,068,673	574,160
営業外収益		
受取利息	31,503	29,236
受取配当金	8,481	8,766
受取手数料	77,877	76,085
その他	11,234	35,164
営業外収益合計	129,098	149,253
営業外費用		
支払利息	6,389	6,877
その他	28,072	3,127
営業外費用合計	34,461	10,005
経常利益	1,163,310	713,409
特別利益		
受取保険金	187,468	—
投資有価証券売却益	—	151,645
特別利益合計	187,468	151,645
特別損失		
減損損失	50,980	166,274
特別損失合計	50,980	166,274
税引前四半期純利益	1,299,799	698,779
法人税、住民税及び事業税	427,161	26,650
法人税等調整額	△89,168	284,518
法人税等合計	337,992	311,169
四半期純利益	961,806	387,609

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年11月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月14日 定時株主総会	普通株式	110,778	10.00	平成26年2月20日	平成26年5月15日	利益剰余金

当第3四半期累計期間(自 平成27年2月21日 至 平成27年11月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月13日 定時株主総会	普通株式	166,143	15.00	平成27年2月20日	平成27年5月14日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、ホームセンター事業を主な事業とし、これに加えて不動産賃貸事業を収益獲得の柱と位置づけております。当社はこれらを基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「ホームセンター事業」及び「不動産賃貸事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する商品及びサービスの種類

「ホームセンター事業」は、DIY用品、家庭用品、カー用品、自転車、レジャー用品等生活関連用品全般を扱うホームセンター店舗と、カー用品専門店、自転車専門店を営業しております。

「不動産賃貸事業」は、当社が保有・管理する不動産の賃貸、商業施設の企画・建設および運営管理を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、前事業年度まではホームセンター事業のみであったため、記載を省略しておりましたが、不動産賃貸事業をホームセンター事業と並ぶ収益獲得の柱と位置づけ、当社が保有・管理する不動産の賃貸や商業施設の企画・建設および運営管理を積極的に行う方針を決定したことから、第1四半期会計期間より「不動産賃貸事業」を新たに報告セグメントといたしました。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期累計期間(自平成26年2月21日 至 平成26年11月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
外部顧客への売上高	27,163,122	—	27,163,122
外部顧客への営業収入	—	379,081	379,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	27,163,122	379,081	27,542,204
セグメント利益	936,281	132,392	1,068,673

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自平成27年2月21日 至 平成27年11月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
外部顧客への売上高	24,738,468	—	24,738,468
外部顧客への営業収入	—	362,482	362,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	24,738,468	362,482	25,100,951
セグメント利益	452,276	121,883	574,160

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。